

法政大学人文科学研究科心理学専攻修士論文／文学部心理学科卒業論文評価表

記入日 年 月 日 論文提出者名 [ ]  
評価教員名 [主査: ] [副査: ]

- (1) タイトルの適切さ：(A+, A, B, C, D)  
副題を含め、論文で取り扱っている内容を的確に表現するタイトルになっているか。
  - (2) 問題の適切さ：(A+, A, B, C, D)
    - 2-1) 取り上げている問題が心理学的検討を行う上で具体的で有意義な内容であるか。
    - 2-2) 問題を構築するにあたり、内外の文献から得られた見解を的確にふまえているか。
  - (3) 研究方法の適切さ：(A+, A, B, C, D)
    - 3-1) 掲げた問題を実証的に検討するために適切な方法が用いられているか。
    - 3-2) 倫理的な配慮（人権の保護や法令等の遵守）がなされているか。
  - (4) データ分析法の適切さ：(A+, A, B, C, D)
    - 4-1) 問題意識を明らかにするために選択した分析方法が適切か。
    - 4-2) データ分析のプロセスにおいて丁寧な検討がなされているか。
  - (5) 図表表現の完成度の高さ：(A+, A, B, C, D)  
最終的に論文に掲げる図表として、「心理学研究」のガイドラインに照らし適切でわかりやすく表現されているか（実験装置や研究のフローチャートを図示したものなども含む）。
  - (6) 考察における文献の検討と問題との対応：(A+, A, B, C, D)
    - 6-1) 考察を展開するに際し、先行研究を適切に参照しているか（ただし、他の研究からの引用はあくまで「従」であり、議論の「主」として認められない）。
    - 6-2) 「問題」と的確に対応した「考察」を展開しているか。
  - (7) 論文の独創性：(A+, A, B, C, D)  
著者による独創性が、問題設定、研究方法、結果、考察のいずれかあるいは全体的な組み立てのなかに存在するか。
  - (8) 全体構成の論理性・明快さ：(A+, A, B, C, D)
    - 8-1) 「問題」から「結論」に至るまでの議論が、論理的に一貫しているか
    - 8-2) 全体の論理が明快に読み取れるように構成されているか。
  - (9) 文章表現の明快さ・わかりやすさ、段落構成の適切さ：(A+, A, B, C, D)  
議論を積み上げ、展開していくに際し、適切な節・段落の設定がなされており、それぞれの内容が分かりやすく記述されているか。
  - (10) 誤字・脱字、表現の不統一：(A+, A, B, C, D)
    - 10-1) 誤字や脱字、さらに、表現が統一されているか（たとえば、「分からない」と「わからない」の混用、などはないか）。
    - 10-2) 引用文献の書き方が正確か。
- 総合判定：(A+, A, B, C, D)